

## 果樹 7 月下旬の巡回調査結果の概要について

【東北信】 巡回日 7月 23、24、28、29 日

### 1 リンゴ（東信 3 ほ場、北信 8 ほ場）

- (1) 褐斑病は、東信 1 ほ場、北信 2 ほ場で発病がみられ、発病果そう率は 0.7～2.0%、発病新梢率は 3.3%であった。
- (2) 黒星病の発病はみられなかった。
- (3) 斑点落葉病は、東信 2 ほ場、北信 7 ほ場で発病がみられ、発病葉率は 0.3～2.8%であった。
- (4) 黒点病の発病はみられなかった。
- (5) キンモンホソガは、北信 6 ほ場で寄生葉（マイン）がみられ、被害葉率は 0.2～2.2%であった。
- (6) シンクイムシ類の被害果はみられなかった。
- (7) リンゴハダニは、東信 1 ほ場、北信 2 ほ場で、成若幼虫と卵がみられた。ナミハダニは、東信 1 ほ場で卵が、北信 4 ほ場で成若幼虫と卵、2 ほ場で成若幼虫がみられた。リンゴサビダニの寄生はみられなかった。
- (8) ハマキムシ類の被害新梢及び被害果実はみられなかった。

### 2 ぶどう（東信 1 ほ場、北信 5 ほ場）

- (1) ベと病の発病はみられなかった。
- (2) 黒とう病の発病はみられなかった。
- (3) チャノキイロアザミウマの被害葉はみられなかった。

### 3 もも（東信 2 ほ場、北信 4 ほ場）

- (1) せん孔細菌病の発病はみられなかった。
- (2) 灰星病は、東信 1 ほ場で発病がみられ、発病果率は 1.7%であった。
- (3) シンクイムシ類、ハマキムシ類の被害果、モモハモグリガの被害葉はみられなかった。
- (4) ハダニ類の寄生葉は、東信 1 ほ場、北信 4 ほ場でみられ、寄生葉率は 3.3～95.0%であった。
- (5) クビアカツヤカミキリ、モモヒメヨコバイの寄生はみられなかった。



図1 モモ灰星病の発病果（東信地域）

【中南信】 巡回日 7月 22、23、24 日

### 1 リンゴ（南信 5 ほ場、中信 5 ほ場）

- (1) 褐斑病は、中信 2 ほ場で新梢の発病がみられ、発病果そう率は、発病枝（新梢）率は 3.3%であった。
- (2) 黒星病、斑点落葉病、黒点病、腐らん病の発病はみられなかった。
- (3) キンモンホソガは、南信 1 ほ場、中信 3 ほ場で寄生葉（マイン）がみられ、被害葉率は 0.2%であった。
- (4) シンクイムシ類の被害果はみられなかった。
- (5) リンゴハダニは、南信 3 ほ場で成若幼虫の寄生がみられた。  
ナミハダニは、南信は 2 ほ場、中信 3 ほ場で成若幼虫の寄生がみられた。  
リンゴサビダニの寄生はみられなかった。
- (6) ハマキムシ類の被害新梢及び被害果実はみられなかった。

## 2 なし（南信 7 ほ場、中信 1 ほ場）

- （1）うどんこ病の発病新梢はみられなかった。
- （2）黒星病、黒斑病の発病葉はみられなかった。
- （3）カイガラムシ類の寄生はみられなかった。
- （4）吸蛾類の被害果はみられなかった。
- （5）シンクイムシ類の被害果はみられなかった。
- （6）リンゴハダニ（図 2）の寄生はみられなかった。  
ナミハダニは、南信 1 ほ場で成若幼虫の寄生がみられた。
- （7）ハマキムシ類の被害新梢はみられなかった。

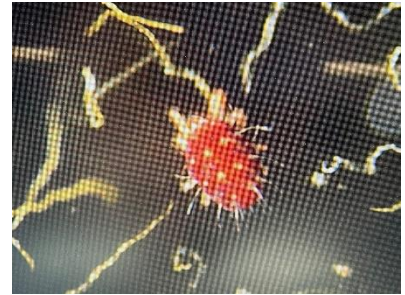


図 2 リンゴハダニ

## 3 ぶどう（南信 2 ほ場、中信 3 ほ場）

- （1）べと病はみられなかった。
- （2）黒とう病はみられなかった。
- （3）チャノキイロアザミウマの被害はみられなかった。

## 4 もも（南信 1 ほ場、中信 2 ほ場）

- （1）せん孔細菌病の発病果はみられなかった。
- （2）灰星病の発病果はみられなかった。
- （3）シンクイムシ類の被害果はみられなかった。
- （4）ハマキムシ類、モモハモグリガの被害果はみられなかった。
- （5）ハダニ類の寄生はみられなかった。
- （6）クビアカツヤカミキリの寄生はみられなかった。
- （7）モモヒメヨコバイの寄生はみられなかった。

## 5 その他

- （1）県下のうめの調査ほ場において、アブラムシ類、クビアカツヤカミキリ、モモヒメヨコバイの発生はいずれもみられなかった。
- （2）りんご、なしの調査ほ場において、侵入警戒病害虫の火傷病、コドリンガの発生はいずれもみられなかった。